

要 望 書

各常任委員会が所管する団体からの市議会に対する御意見・御要望が提出されたことを受け、各常任委員会を中心に、市議会において市執行部に対する意見等の整理・検討を行い、次のとおり要望いたしますので、今後の市政運営に反映されるよう求めるものです。

【総務常任委員会：秦野市交通安全協会】

交通安全協会をはじめとする秦野市交通安全対策協議会の構成団体は、交通事故防止啓発活動や学童の見守り活動等、市民の安全・安心のため日々事業に取り組まれている。

しかし、交通安全協会は、無報酬のボランティア活動であること等から新規役員の入会がなく、さらに役員の高齢化に伴い活動が困難になってきている。また、若者の免許離れ等による免許会員の減少により、協会の活動資金が困窮している状況にある。

これらの現状は、交通安全協会の活動内容について、市民に対する情報発信の機会が少ないことにより、活動への理解があまり得られていないことが要因の一つと考える。

そこで、日々市民のために、安全・安心の一翼を担っている交通安全協会等の活動内容やその功績等に対し、市民の理解がより深まるよう周知することについて、市として可能な限り支援を行うよう、市議会として要望する。

【文教福祉常任委員会：一般社団法人秦野伊勢原医師会】

全国の感染者数が増加の一途をたどる新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年につき本年1月にも政府から緊急事態宣言が発出された。本市においても、昨年11月からの3か月間で感染者数が約7倍に膨れ上がるなど、感染症に対する市民の不安も非常に高まっている状況の中、医療従事者の方々は日々医療の最前線で患者の治療に尽力されている。

しかし、感染リスクが高まることを懸念した受診抑制が起きており、病院、診療所、さらには秦野市休日夜間急患診療所においても患者数が減少し、経営状態が悪化している。

このように、コロナ禍にあって経営状況が厳しい中、医療機関とのさらなる連携強化を図ったうえで、現在の医療体制を踏まえた適切な支援が必要であると考えます。小児二次救急医療体制を確保するため、病院及び有床診療所の整備や、一次救急を含めた医療体制の充実を図るとともに、産科及び小児科における現在の医療体制について、市民がより利用しやすくなるような広報に努めることを要望する。

また、秦野市休日夜間急患診療所についても、市民の不安を解消するための施設として欠かすことのできない存在であると認識している。市執行部においては補正予算を組むなど、運営に対する補助をされているが、現状を的確に捉えた適切な支援を行うよう、市議会として要望する。

【環境都市常任委員会：秦野商工会議所工業部会】

本市の企業活動の活性化や物流の効率化といった産業面への効果が期待される新東名高速道路が、令和3年度内に伊勢原大山インターチェンジから（仮称）秦野インターチェンジまで開通する見込みであり、本市にとっては千載一遇のチャンスである。

このような状況の中、平成27年度に策定し、本市が展開するべき工業振興施策の方向性や指針を示した「秦野市工業振興基本計画」について、計画の見直し時期となった。秦野商工会議所工業部会も参加している策定懇話会において、今後、このチャンスを生かすための計画内容について議論がされていくものと思われる。

そこで、市議会としては次の2点を要望する。

- 1 企業誘致に当たり、市内横断的に連携することはもちろんのこと、工業部会を含めた秦野商工会議所や金融機関等と連携し、本市の地域特性を活かした企業誘致を進めること。
- 2 コロナ禍で対応に苦慮されている状況下において、市内企業活性化のため、受注機会の確保が社会経済情勢に合わせて柔軟に図られるよう、秦野市工業振興基本計画に盛り込み、事業の実現に向けて取り組むこと。

令和3年3月4日

秦野市長 高橋 昌和 様

秦野市議会議長 今 井 実